

アロマキャンドルから出火 - 西日本防災システム

植物などのオイルの香りを楽しむことにより心身をリラックスさせるアロマセラピー。静かなブームとなっているようですが、アロマセラピーによる火災が全国的に増加傾向にあるようです。火災事例と使用する際のポイント情報をお伝えいたします。

事例①

自室の机の上でアロマローソクをつけ、その場を離れた間に付近の可燃物に着火し火災発生。

事例②

就寝時にアロマキャンドルを点火し、消さずに放置したため付近の可燃物に着火し火災発生。

事例③

ガラス製の灰皿にアロマキャンドルを立て、着火後就寝。キャンドルの火でガラス灰皿が熱せられて割れ、落下したキャンドルから出火。

などなど、たくさんあります。リラックスするためのキャンドルで火災に？

アロマキャンドルの性状を簡単にご説明します。

| | |
|-----|-------------|
| 原料 | : パラフィンワックス |
| 比重 | : 0.9 |
| 融点 | : 40°C~70°C |
| 引火点 | : 230°C |
| 発火点 | : 380°C |

アロマキャンドルを安全にお使いいただく 五つのポイント

- 1 キャンドルを立てるときは金属性などの燃えたり割れたりしないものを選んでください。キャンドルの大きさに合ったものを使ってください。
- 2 上方や周りに燃え易いものがないか確認をお願い致します。風の当たる場所での使用も避けてください。
- 3 その場を離れる時や就寝する時、使用が終わった時は必ず火を消しましょう。
- 4 お子さんがお部屋で使用する場合は必ず保護者の方が注意してあげてください。
- 5 商品についている取り扱い説明書や注意事項は必ず読んで理解してください。



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

